

(様式第9)

琉大病総第 93 号
平成21年10月2日

厚生労働大臣

殿

琉球大学医学部附属病院長
須加原 一

琉球大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	40 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	283人	4人	284.8人	看護業務補助	53人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	19人	1人	19.8人	理学療法士	5人	臨床検査技師	30人
薬剤師	25人	0人	25.0人	作業療法士	2人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	14人	0人	14.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	441人	21人	456.8人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	0人	1人	1.0人	歯科技工士	0人	事務職員	111人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	23人	その他の職員	23人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	462.5人	19.2人	481.7人
1日当たり平均外来患者数	992.5人	64.9人	1,057.4人
1日当たり平均調剤数		10,249 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有	3人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	無	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	無	人
神経芽腫のRNA診断	無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	無	人
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術(インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、腓管内腫瘍その他の膝良性腫瘍に係る腓体尾部切除又は核出術に限る。)	無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のも(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオキシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテナーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナー)に係るものに限る。)	無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有	4人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有	1人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	24人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	21人
・多発性硬化症	9人	・ウエゲナー肉芽腫症	4人
・重症筋無力症	25人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	45人
・全身性エリテマトーデス	109人	・多系統萎縮症	10人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	14人	・膿疱性乾癬	8人
・サルコイドーシス	40人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	4人	・原発性胆汁性肝硬変	29人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	86人	・重症急性膵炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	23人	・特発性大腿骨頭壊死症	63人
・結節性動脈周囲炎	15人	・混合性結合組織病	9人
・潰瘍性大腸炎	124人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	24人	・特発性間質性肺炎	11人
・ビュルガー病	30人	・網膜色素変性症	44人
・天疱瘡	35人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	7人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	118人	・神経線維腫症	9人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・亜急性硬化性全脳炎	7人
・悪性関節リウマチ	3人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	11人
・パーキンソン病関連疾患	45人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	6人
・後縦靭帯骨化症	28人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		1,064人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	剖検症例検討会	1～2回/月	
	研修CPC	1～2回/月	
	症例カンファレンス	4～5回/月	
剖検の状況	剖検症例数	17例	剖検率 10.6%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

〈平成20年度分〉

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元	
1	沖縄県の環境水および患者検体より検出されるAeromonas属の病原因子解析	仲宗根 勇	検査部	570,000	補	日本学術振興会
2	百寿を含む長寿者の骨量と関節症変化に影響する因子の研究	大湾 一郎	整形外科	100,000	補	日本学術振興会
3	沖縄産緑黄色野菜の血圧、脈波、腎機能、酸化ストレスへの効果に関する無作為割付研究	大屋 祐輔	循環系総合内科学分野	1,000,000	補	日本学術振興会
4	遺伝学および生物学的指標を用いたうつ病性障害の治療アルゴリズムの策定	近藤 毅	精神病態医学分野	800,000	補	日本学術振興会
5	酸感受性イオンチャンネルを標的とした脊髄保護法の開発	齊川 仁子	手術部(麻酔科)	1,100,000	補	日本学術振興会
6	脊髄虚血後モルヒネ誘発性対麻痺の機序解明に関する研究～酸化窒素の関与～	垣花 学	麻酔科学分野	1,000,000	補	日本学術振興会
7	過活動膀胱ラットの脳脊髄への骨髄間質細胞移植による下部尿路機能の再構築	菅谷 公男	泌尿器科学分野	1,600,000	補	日本学術振興会
8	口腔領域早期癌予後不良症例と多発癌におけるHPV関与についての分子生物学的検討	砂川 元	顎顔面口腔機能	400,000	補	日本学術振興会
9	簡易なCYP2C19遺伝子多型検査によるH. pylori除菌率への効果	宇野 司	薬剤部	1,600,000	補	日本学術振興会
10	内臓脂肪由来活性酸素種による血管障害の分子メカニズム	島袋 充生	第二内科	1,900,000	補	日本学術振興会
11	血清中ヘパラーゼ測定法の確立と抗ヘパラーゼ薬による癌転移抑制療法の開発	青木 陽一	女性・生殖医学分	1,300,000	補	日本学術振興会
12	ナトリウム利尿ペプチドによる内耳水電解質制御機構の解明	鈴木 幹男	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	1,300,000	補	日本学術振興会
13	RM2が規定するハプトグロビンベータ鎖の前立腺癌細胞における機能的役割	斎藤 誠一	泌尿器科学分野	187,444	補	日本学術振興会
14	C型肝炎ウイルス複製に対する脂肪沈着、およびアディポサイトカインの作用	山城 剛	輸血部(第一内科)	500,000	補	日本学術振興会
15	小児白血病細胞におけるNF-κB活性と細胞周期・アポトーシス関連蛋白の研究	松田 竹広	小児科	1,300,000	補	文部科学省科研費
16	透析患者における腎性貧血治療のためのエリスロポエチン投与量を規定する因子の検討	町田(比嘉)典子	泌尿器科学分野	1,600,000	補	文部科学省科研費
17	LORETA及びSPM法を用いた初発統合失調症における脳機能・形態異常の検討	外間 宏人	精神神経科	300,000	補	文部科学省科研費
18	抗コリン剤の血中カテコールアミン含量に及ぼす影響	菅谷 公男	泌尿器科	1,000,000	委	大鵬薬品工業(株)
19	臨床分離株の薬剤感受性調査	山根 誠久	検査部	945,000	委	塩野義製薬(株)
20	カテーテル心筋焼灼術におけるエンサイトの臨床上的有効性について	比嘉 聡	第二内科	1,610,000	委	日本光電工業(株)
21	ICD shock lead至適filter設定の検討:定常状態、塩酸アミノプロレノール負荷中、負荷後のT wave sensingの検討	比嘉 聡	第二内科	1,000,000	委	日本光電工業(株)
22	カテーテル心筋焼灼術における放射線防護キャビンの術者被ばく軽減効果について	比嘉 聡	第二内科	104,000	委	センチュリーメディカル(株)
23	CRTD後の左室電氣的リモデリングの検討について	比嘉 聡	第二内科	1,000,000	委	日本メドトロニック(株)
24	地域病理学的観点による疾病像の形態学的、分子細胞学的解析	加藤 誠也	病理部	4,240,000	委	(株)臨床病態医学研究所
25	テトラヒドロクルクミン含有発酵ウコンのNASH予防効果に関する研究	藤田 次郎	第一内科	5,588,100	委	(株)琉球バイオリソース開発
26	CARTOXPを用いた新たなSbstrateMapの有効性評価に関する研究	比嘉 聡	第二内科	300,000	委	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
27	心房細動におけるカテーテル心筋焼灼術の際の高頻度電気刺激による心外膜副迷走神経叢分布領域同定法について	比嘉 聡	第二内科	520,000	委	(株)メディコン
28	PP2Aを利用した藍藻毒ミクロシステンの簡易分析キットの開発	上里 博	皮膚科	4,299,750	委	(株)トピカルテクノセンター
29	狭隅角眼への眼内レンズ挿入術前後の屈折および眼底変化	澤口 昭一	眼科	420,000	委	(株)ジャムコン
30	血液透析中の差圧変化率の実用化	小田 正美	ME機器センター	470,000	委	東レ・メディカル(株)
31	HIV Ag/Ab検出用試薬の基礎的性能評価	山根 誠久	検査部	312,000	委	ロシュ・ダイアグノスティクス(株)
32	疾病像の病態病因解明のための形態病理学的及び実験病理学的研究	加藤 誠也	病理部	4,430,000	委	(株)臨床病態医学研究所
33	高品位PETプローブ製造用普及型総合システムの研究開発	村山 貞之	放射線科	1,061,778	委	(株)粒子線医療支援機構
34	自動細菌タイピング装置DiversiLabの検討評価	山根 誠久	検査部	364,000	委	シスメックスバイオメジャー(株)
35	沖縄地区での遠隔画像診断の運用に関する研究	村山 貞之	放射線科	315,000	委	(株)ネット・メディカルセンター
	計			44,537,072		

計 35 件

2 論文発表等の実績

no	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Journal of viral hepatitis	Inhibition of intracellular hepatitis C virus replication by nelfinavir and synergistic effect with interferon-alpha.	當間 智	第1内科
2	Internal medicine	Clinical utility of serum beta-D-glucan and KL-6 levels in Pneumocystis jirovecii pneumonia.	仲村秀太	第1内科
3	BMC microbiology	NF-kappaB activation by Helicobacter pylori requires Akt-mediated phosphorylation of p65.	武嶋恵理子	第1内科
4	Infection and immunity	Helicobacter pylori-induced interleukin-12 p40 expression.	武嶋恵理子	第1内科
5	Japanese journal of infectious diseases	Characteristics of Legionella pneumophila serogroup 2 strains by colony morphology.	小出道夫	第1内科
6	Retrovirology	Human T-cell leukemia virus type I infects human lung epithelial cells and induces gene expression of cytokines, chemokines and cell adhesion molecules.	照屋宏充	第1内科
7	Japanese journal of infectious diseases	Assessment of serum anti-Bordetella pertussis antibody titers among medical staff members.	比嘉 太	第1内科
8	Microbes and infection	Toll-like receptor 2 (TLR2) and dectin-1 contribute to the production of IL-12p40 by bone marrow-derived dendritic cells infected with Penicillium marneffeii.	仲村 究	第1内科
9	Respiratory research	Legionella pneumophila infection induces programmed cell death, caspase activation, and release of high-mobility group box 1 protein in A549 alveolar epithelial cells: inhibition by methyl prednisolone.	古堅 誠	第1内科
10	Journal of microbiological methods	Detection of Legionella pneumophila serogroup 1 antigen in respiratory samples using an immunochromatographic membrane	比嘉 太	第1内科
11	World journal of gastroenterology	Association between colonic polyps and diverticular disease.	平田哲生	第1内科
12	沖縄医学会雑誌	当科での非小細胞肺癌症例におけるEGFR遺伝子変異検査の施行状況	内原照仁	第1内科
13	日本呼吸器学会雑誌	A-DROPはレジオネラ肺炎症例の重症度を過小評価する可能性がある	原永修作	第1内科
14	Diabetes Res Clin Pract	High prevalence of peripheral arterial disease diagnosed by low ankle-brachial index in Japanese patients with diabetes: The Kyushu Prevention Study for	Maeda Y / Shimabukuro M	第2内科
15	Circulation J	α -Glucosidase Inhibitor Acarbose Reduces Postprandial Glucose Spike and Endothelial Dysfunction in Type 2 Diabetic Patients.	Shimabukuro M	第2内科
16	肥満研究	当院健診受診者における腹囲径の年次的変化	比嘉盛丈	第2内科
17	日本老年医学会雑誌	年齢を考慮した心臓血管病代謝リスクの捉え方	島袋充生	第2内科
18	糖尿病	Pulse Wave Velocity (baPWV)を指標とした降圧剤 (ARB、ACEI、Ca拮抗薬)の動脈硬化進展への影響に関する検討	船越紀子 / 島袋充生	第2内科
19	メタボリックシンドローム	内臓脂肪測定装置を用いた内臓脂肪面積の増減と心血管疾患危険因子数変化に関する解析	西澤均 / 島袋充生	第2内科
20	糖尿病	沖縄県における肥満率の動向	比嘉盛丈	第2内科
21	糖尿病	脂肪細胞におけるカタラーゼの発現調節機構の解析 転写開始点の上流遠隔に存在する新たなPPAR γ 応答領域を介した制御	奥野陽亮 / 島袋充生	第2内科

no	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
22	糖尿病	Pulse wave velocity(baPWV)を指標とした降圧剤の動脈硬化進展への影響に関する検討	船越紀子 / 島袋充生	第2内科
23	JAMA	Low-dose aspirin for primary prevention of atherosclerotic events in patients with type 2 diabetes: A randomized controlled	Ogawa H / Shimabukuro M	第2内科
24	Europace	Frequency analysis of the fibrillatory activity from surface ECG lead VI and intracardiac recordings: implications for mapping of AF.	Hsu NW / Higa S	第2内科
25	Heart Rhythm	Spectral analysis during sinus rhythm predicts an abnormal atrial substrate in patients with paroxysmal atrial	Lin YJ / Higa S	第2内科
26	Heart Rhythm	Right atrial substrate properties associated with age in patients with typical atrial flutter.	Huang JL / Higa S	第2内科
27	Diabetes Res Clin Pract	Mutations in the beta1 adrenergic receptor gene and massive obesity in Japanese.	Ohshiro Y	第2内科
28	Tohoku J Exp Med	Ras-mediated up-regulation of survivin expression in cytokine-dependent murine pro-B lymphocytic cells.	Shinjyo T	第2内科
29	Jpn J Infect Dis	Assessment of serum anti-Bordetella pertussis antibody titers among medical staff members. Jpn J Infect Dis.	Higa F / Tomoyose T	第2内科
30	Int. J. Cancer	Anti-adult T-cell leukemia effects of brown algae fucoxanthin and its deacetylated product, fucoxanthinol.	Ishikawa C / Okudaira T	第2内科
31	Cancer Sci.	Anti-adult T-cell leukemia effects of a novel synthetic retinoid, Am80 (Tamibarotene).	Nakazato T	第2内科
32	Br. J. Haematol.	A modified version of galectin-9 induces cell cycle arrest and apoptosis of Burkitt and Hodgkin lymphoma cells.	Makishi S / Okudaira T	第2内科
33	Head Neck	Adult T-cell leukemia/lymphoma with multiple integration of HTLV-1 provirus presenting as an isolated paranasal sinus tumor: a case report.	Nagasaki A	第2内科
34	内科	67Gaシンチグラフィで検出されたリンパ節の髄外造血	金城重子	第2内科
35	癌と化学療法	血球貪食症候群を併発したHHV-8関連 Multicentric Castleman Diseaseの1例.	宮城敬	第2内科
36	癌と化学療法	子宮頸部原発びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1例.	奥平多恵子	第2内科
37	World J Gastroenterol.	Adult T-cell leukemia/lymphoma presenting multiple lymphomatous polyposis.	Hokama A / Tomoyose T	第2内科
38	Ryukyu Medical Journal	Repair of Osteochondral Defects in Rat Knees with Human Bone Marrow Mesenchymal Stem Cells	Hayashi Kaori	整形外科
39	関節外科 基礎と臨床	モーションキャプチャーシステムを用いた下肢の三次元動作解析 Three-dimensional motion analysis of lower-limb using motion capture system	新城宏隆	整形外科
40	整形外科と災害外科	脊髄軟膜下脂肪腫の4手術例	野原博和	整形外科
41	日本手の外科学会雑誌	上腕三頭筋枝を三角筋へ神経移行した上位型腕神経叢損傷の1例	普天間朝上	整形外科
42	日本マイクロサージャリー学会誌	マイクロサージャリーの基本手技神経縫合 神経縫合術	金谷文則	整形外科
43	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	先天性橈尺骨癒合症の術後リハビリテーションと工夫	大城史子	整形外科

no	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
44	Placenta	Cellular localization of placenta-specific human endogenous retroviruses (HERVs) transcript and their possible implication in pregnancy-induced hypertension.	Kudaka W	産婦人科
45	Gynecol Oncol	Predictive factors of distant recurrence in locally advanced squamous cell carcinoma of the cervix treated with concurrent chemoradiotherapy.	Hirakawa M	産婦人科
46	Emerg Radiol	Massive ovarian edema with torsion: unusual hemorrhage and the recovery of contrast enhancement.	Yamashiro T	産婦人科
47	Eur J Gynaecol Oncol	Neoadjuvant chemotherapy followed by extended-field concurrent chemoradiotherapy in squamous cell carcinoma of the cervix with positive para-aortic lymph node: Two cases report.	Hirakawa M	産婦人科
48	Neurol Med Chir (Tokyo)	Treatment and prognosis of brain metastases from gynecological cancers.	Ogawa K	産婦人科
49	J Minim Invasive Gynecol	Laparoscopic marsupialisation of pelvic lymphocele under transvaginal ultrasonographic guidance.	Mekaru K	産婦人科
50	Arch Gynecol Obstet	Squamous cell carcinoma arising in an ovarian mature cystic teratoma complicating pregnancy:	Mekaru K	産婦人科
51	Int J Clin Oncol	Concurrent chemoradiation for locally advanced squamous cell carcinoma of the vagina: Case	Nashiro T	産婦人科
52	Int J Gynecol cancer	Recurrent juvenile granulosa cell tumor of the ovary managed by palliative radiotherapy.	Hirakawa M	産婦人科
53	J Obstet Gynecol Res	Outcome of pregnancy after laser conization: Implications for infection as a causal link with	Masamoto H	産婦人科
54	Gynecol Endocrinol	Thyroid function after hysterosalpingography using oil-soluble iodinated contrast media.	Mekaru K	産婦人科
55	J Obstet Gynecol Res	Cigarette smoking and polymorphism of glutathione S-transferase M1 associated with	Nishino K	産婦人科
56	J Obstet Gynaecol	Heparanase expression in endometrial cancer: Analysis of immunohistochemistry.	Inamine M	産婦人科
57	日婦腫瘍誌	卵巣明細胞腺癌に対する術後全腹部照射の長期治療成績	長井裕	産婦人科
58	産科と婦人科	先天性上気道閉塞症候群 (congenital high airway obstruction syndrome: CHAOS) を胎内診断しえた1例について	島袋 史	産婦人科
59	産科と婦人科	当院で施行したEXITの経験	島袋 史	産婦人科
60	産科と婦人科	外陰部扁平上皮癌 T2 / T3 症例における縮小手術の有用性	平川 誠	産婦人科
61	産科と婦人科	外陰扁平上皮癌とHPV感染との関連について	平川 誠	産婦人科
62	日本産科婦人科内視鏡学会誌	子宮体癌術後の骨盤内リンパ嚢胞に対して腹腔鏡下開窓術を施行した1例	銘苺 桂子	産婦人科
63	日本産科婦人科内視鏡学会誌	良性卵巣腫瘍の診断で腹腔鏡下手術を施行し術後診断が境界悪性卵巣腫瘍であった6例の検討	銘苺 桂子	産婦人科

no	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
64	J Vet Med Sci	Molecular typing of sand fly species (Diptera, Psychodidae, Phlebotominae) from areas endemic for Leishmaniasis in Ecuador by	Terayama Y	皮膚科
65	西日本皮膚科	HTLV-1キャリアに強皮症, 関節リウマチ, sjogren症候群を併発した1例	峯 嘉子	皮膚科
66	皮膚の科学	爪下外骨腫の1例	照屋 操	皮膚科
67	西日本皮膚科	Vogt-小柳-原田症候群の小児例	川崎恭子	皮膚科
68	日本皮膚科学会雑誌	皮膚科のプライマリーケア 刺・咬傷のプライマリーケア	佐藤浩信	皮膚科
69	西日本皮膚科	漢方製剤併用が有効と考えられた慢性皮膚炎の1例	細川 篤	皮膚科
70	Br J Dermatol	Detection of human papillomavirus type 56 in Bowen's disease involving the nail matrix	Shimizu A	皮膚科
71	J Trop Med Hyg	Molecular Mass Screening to Incriminate Sand Fly vectors of Andean-type Cutaneous Leishmaniasis in Ecuador and Peru	Kato H	皮膚科
72	Eur J dermatol	Detection of human papillomavirus type 11 in a case of Buschke-Lowenstein tumor	Asato Y	皮膚科
73	J Dermatol	Neonatal pemphigus vulgaris	Gushi M	皮膚科
74	J Dermatol	Case of linear immunoglobulin A bullous dermatosis associated with acquired hemophilia.	Arakaki O	皮膚科
75	J Dermatol	Case of chromoblastomycosis appearing in an Okinawa patient with medical history of Hansen's disease	Miyagi H	皮膚科
76	Am J Trop Med Hyg	Natural infection of Lutzomyia tortura with Leishmania (Viannia) naiffi in an Amazonian area of Ecuador	Kato H	皮膚科
77	World J Gastroenterol	Adult T-cell leukemia/lymphoma presenting multiple lymphomatous polyposis	Hosokawa A	皮膚科
78	日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌(0913-3976)26巻1号 Page45-49(2008.05)	耳鼻咽喉科におけるHIV陽性患者に対する手術症例の検討	喜友名朝則	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
79	Otology Japan(0917-2025)18巻3号 Page182-187(2008.07)	当科における耳小骨奇形手術例	武藤俊彦, 大田重人	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
80	耳鼻と臨床(0447-7227)54巻5号 Page235-239(2008.09)	両側ムンプス難聴児に対する人工内耳埋め込み術	我那覇章	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
81	頭頸部外科(1349-581X)18巻1号 Page33-38(2008.06)	超選択的血管塞栓術が有効であった鼓室型グロームス腫瘍の2例	我那覇章	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
82	耳鼻咽喉科臨床(0032-6313)101巻4号 Page257-260(2008.04)	ブロム酸塩(コールドパーマ液)飲用による難聴	戸嶋一郎, 鈴木幹男	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
83	耳鼻咽喉科臨床(0032-6313)101巻6号 Page453-457(2008.06)	篩骨洞原発mucinous型腸管型腺癌例	小河孝夫, 瀬野悟史, 櫻井弘徳, 鈴木幹男, 清水猛史	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
84	頭頸部癌(1349-5747)34巻4号 Page594-599(2008.12)	80歳以上の高齢者頭頸部癌症例の検討	鈴木幹男	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

no	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
85	Leuk Lymphoma. 2009 Feb;50(2):187-95. Review.	Extranodal adult T-cell leukemia/lymphoma of the head and neck: a clinicopathological study of nine cases and a review of the literature.	Miyagi T, Nagasaki A, Taira T, Shinham A, Suzuki M, Ohshima K, Takasu N.	耳鼻咽喉・頭頸部 外科学分野
86	Head Neck. 2008 Jun;30(6):815-20.	Adult T-cell leukemia/lymphoma with multiple integration of HTLV-1 provirus presenting as an isolated paranasal sinus tumor: a case report.	Nagasaki A, Miyagi T, Taira T, Shinham A, Kojya S, Suzuki M, Aonahata M.	耳鼻咽喉・頭頸部 外科学分野
87	Otol Neurotol. 2009 Jan;30(1):48-53.	Eustachian tube function and habitual sniffing in middle ear cholesteatoma.	Ohta S.	耳鼻咽喉・頭頸部 外科学分野
88	Am J Rhinol Allergy. 2009 Mar- Apr;23(2):197-9.	Endoscopic ligation of the sphenopalatine artery and the maxillary artery for the treatment of intractable posterior epistaxis.	Seno S, Arikata M, Sakurai H, Owaki S, Fukui J, Suzuki M.	耳鼻咽喉・頭頸部 外科学分野
89	Journal of Anesthesia	Delayed response of transcranial myogenic motor-evoked potential monitoring to spinal cord ischemia during repair surgery for descending thoracic aortic aneurysm	M kakinohana	麻酔科・ 集中治療部
90	Infections and Medicine	Prophylactic oseltamivir for prevention of nosocomial influenza A virus infection.	Fujita I, Kuda T. et al	感染対策室、手術 部
91	Jap. J. Infections Diseases	Assessment of serum anti-Bordetella pertussis antibody titers among medical staff members.	Higa F, Kuda T. et al	感染対策室、手術 部
92	診断病理	甲状腺篩状-モルレ型乳頭癌の1例	松崎晶子	病理部
93	癌と化学療法	血球貪食症候群を併発したHHV-8関連 multicentric castlemann diseaseの1例	宮城敬	病理部
94	Placenta	Cellular localization of placenta-specific human endogenous retrovirus (HERV) transcripts and their possible implication in pregnancy-induced hypertension.	Kudaka W	病理部
95	HEAD&NECK-DOI	Adult T-cell leukemia/lymphoma with multiple integration of HTLV-1 provirus presenting as an isolated paranasal sinus tumor:A case report.	Nagasaki A	病理部
96	Inter Med	Necrotizing Fasciitis Caused by Pseudomonas aeruginosa.	Akamine M	病理部
97	World Journal of Gastroenterology	Adult T-cell leukemia/lymphoma presenting multiple lymphomatous polyposis	Akira Hokama	病理部
98	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	脳梗塞左片麻痺と両側変形性膝関節症の合併例に対する両側人工膝関節置換術(TKA)の効果	山口健	リハビリテーショ ン部
99	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	関節リウマチとリハビリテーション 上肢を中心として	金谷文則	リハビリテーショ ン部
100	整形外科と災害外科	陳旧性小指屈筋腱皮下断裂に対し、橋渡し腱移植後に減張位早期自動運動を行った1例	岳原吾一	リハビリテーショ ン部

計 100 件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 須加原 一博
管理担当者氏名	総務課長 濱野満夫、医療支援課長 上原葉子、医学部事務長 宮里昇二 放射線部長 村山貞之、薬剤部長 宇野司、看護部長 川満幸子

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録		診療録は入院、外来別に1患者1ファイル方式で中央管理している。エックス線写真はデジタル化後、放射線部サーバーで保管管理し、出力画像は各診療科保存としている。各科診療日誌、看護記録は院内情報システム上で共有し、一定期間づつプリントアウトしてファイリングしている
病院日誌	総務課	
各科診療日誌、看護記録	看護部	
検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療支援課 (診療録に貼付)	
手術記録	手術部	
エックス線写真	放射線部	
処方せん	薬剤部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院総務課
	高度の医療の提供の実績	医療支援課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部事務部 各診療科
	高度の医療の研修の実績	病院総務課
	閲覧実績	病院総務課
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療支援課
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療支援課 薬剤部	
確規保則の第9条の2及び第1条の11各号に	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	安全管理対策室に専任のゼネラルリスクマネージャーを配置
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室にICNを配置
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	安全管理対策室
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口を設置し、専任の相談員を配置している。
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理対策室を中心に整備、指針を決定し、リスクマネジメント・マニュアルに明記、電子カルテシステムに搭載、全部署へ周知している。

掲 げ る 体 制	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理委員会を毎月、リスクマネージャー連絡会議を毎月、分析担当者会議を毎月開催している。定期カンファレンスを毎週実施。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	全職員対象に年4回実施。必要時GRMが出席研修として安全研修を実施している。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	報告されたインシデントレポートの内容をリスクマネージャー連絡会議や安全ニュースで周知し、情報の共有をし再発防止に努めている。携帯端末の導入により、患者誤認防止を図る。リスクマネジメント・マニュアルの改訂。インシデントに伴う改善策の立案・整備・実施状況評価している。

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室を中心に整備、感染対策委員会で指針を決定し、感染対策マニュアルに明記し全部署に配布・周知した。
	11	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策委員会を毎月開催している。その他、感染対策実務者会議を1回/2ヶ月開催、感染リンクナース委員会を毎月開催している。
	各号に掲げる体制確保の	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	全職員を対象に2回実施した。その他部署別研修として清掃業務担当者、リネン業務担当者への研修会を実施している。

状況	<p>感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況</p>	<p>感染対策支援システムを導入し、各部署の耐性菌分離状況が院内LANで確認できるよう整備。耐性菌分離状況の委員会・会議等での報告と、必要部署との対応策のミーティングの開催。 感染対策マニュアルの改訂。院内感染事例に伴う改善策の整備と周知。ICT（感染対策チーム）ラウンドによる感染対策の確認と指導。</p>
	<p>医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況</p>	<p>薬剤部長を責任者として配置。</p>
	<p>従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況</p>	<p>年2回開催している。</p>
	<p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p>	<p>医薬品安全管理専門委員会のもと、医薬品安全管理手順書を作成の上、各部署に配付し、責任者が業務実施状況を確認している。</p>
	<p>医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p>	<p>薬剤部において情報収集・整理し、広報すべき情報は、オーダーシステムを通じて告知している。</p>
	<p>医療機器の安全使用のための責任者の配置状況</p>	<p>病院長が委嘱した医療機器安全管理責任者を配置している。</p>
	<p>従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況</p>	<p>年23回開催している。</p>
	<p>医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況</p>	<p>医療安全管理専門委員会において点検計画を策定し、保守点検を実施。</p>

<p>医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p>	<p>厚生労働省等の各機関から情報を収集し、掲示板への掲示、各部署への周知徹底を実施。</p>
--	---

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 須加原 一博
閲覧担当者氏名	総務課長 濱野 満夫
閲覧の求めに応じる場所	管理棟 2階 小会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	76.8%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	8,386	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,754	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	701	人
	D: 初診の患者の数	14,170	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (2) 名 (室長 ; 兼任、GRM ; 専任・兼任) ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ① インシデントレポート等の集計と分析、現場への必要な情報の周知 ② 各リスクマネージャーとの連絡調整 ③ 各部署及び職員に対する指導・助言 ④ 院内巡視による安全点検と指導 ⑤ 安全管理に関する教育・研修の企画・立案・運営 ⑥ 安全相談窓口に関すること ⑦ 安全管理に関する診療ガイドライン等の作成への参画 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ① 医療機関における安全管理に関する基本的な考え方 ② 医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項 ③ 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ⑤ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ⑥ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ⑦ 患者からの相談への対応に関する基本方針 ⑧ その他医療安全の推進の為に必要な基本方針 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 15 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ① 安全管理の対策及び教育に関すること ② 医療事故の判定に関すること ③ リスクマネジメント・マニュアルに関すること ④ 医療事故が発生したときにおける事実確認・措置及び対策に関すること ⑤ 医事紛争が生じたときの拡大防止策に関すること ⑥ 訴訟が提起されたときの対策に関すること ⑦ その他安全管理、医療事故、医事紛争及び訴訟に関する重要事項 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ① マニュアルの原点にもどる ② 除細動器の取扱いについて・人工呼吸器の取扱いについて ③ 日常診療におけるインスリン使用上の注意点 ④ 医療安全シンポジウム 琉大病院の医療は安全になったのか 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ① インシデントに関する対策事項の提出 ② 病院管理者による院内巡視を行い、直接的に指導・確認をする ③ リスクマネージャー連絡会議・安全ニュース等で情報の共有を図る 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 院内感染対策に関する基本的考え方 ② 院内感染対策委員会その他医療機関の組織に関する基本的事項 ③ 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 ④ 感染症の発生状況の報告に関する基本的事項 ⑤ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ⑥ 患者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ⑦ その他院内感染対策の推進のための必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 院内感染対策に関し、予算、施設、整備など重要な事項に関する事項の審議 ② 院内感染に対するマニュアルの作成などに関する事項の審議 ③ 院内感染対策についての周知徹底や啓発に関する事項の審議 ④ 院内感染が判明した場合の報告とその対応に関する事項の審議 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回(全体研修)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 知っていますか？麻疹・水痘・風疹・ムンプス・インフルエンザの院内感染対策 ② 日常診療ですぐに役立つ抗菌薬の選び方と使い方 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 感染対策室員によるラウンドを定期的に行い、直接的な確認と指導を行う。 ② 感染対策リンクナース委員会および感染対策実務者会議、ICTニュースなどで情報の共有を図る ③ 院内感染発生報告書の提出 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度は年2回開催を計画している。第1回目は平成21年10月27日(火)に「インスリンデバイスの正しい使用法とインシデントの事例について」の演題、第2回目は平成21年12月16日(水)「演題未定」で計画している。 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成 (有 無) 業務の主な内容： 手順書を院内各部署に配置している。日常的には各部署の責任者が手順書に基づいて業務が行われているかをチェックする。定期的に、安全管理の責任者が巡回し、手順書に基づく業務が実施されているかを確認する。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無) その他の改善のための方策の主な内容： 薬剤部の医薬品情報室で情報を収集・整備を行っている。広報すべき情報は、院内処方オーダーシステムの処方オーダー画面の開始画面に表示している。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 23 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器の基礎安全管理 ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプ ・ 人工呼吸器 ・ 除細動器 ・ 体外循環関連 ・ 保育器 ・ 血液浄化装置 ・ 放射線機器関連 ・ 心電計・ペースメーカー 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>22品目のME機器(498台)の定期点検を行っている。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>業者、学会、院内、PMDAなどから集められた不具合情報やインシデントを院内のME新聞で各部に流すと同時に、医療機器安全管理専門委員会で報告し、再教育している。</p>	